

ギブン
Given

～いま、ここ、にある しあわせ～

Film Note



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を



ギブン
Given

~いま、ここ、にある しあわせ~



学校名:

氏名:

学年:

ギブン Given ~いま、ここ、にある しあわせ~

この映画には、難病の子どもとその家族が登場します。ですが、彼らを支援するためにつくられたものではありません。この映画は、彼らが〈いのち〉と向き合い、日々、泣き笑いしながら生きる姿を綴ったヒューマン・ドキュメンタリーです。

なぜ、この映画をつくったか。きっかけは、5年前に遡ります。その当時、私はディズニーランドで働いていました。そしてある時、仕事の意義について考えるチャンスに恵まれました。

“何のために、働くのだろうか？”

“誰のために、働くのだろうか？”

そして、その疑問はいつの間にか、

“誰のために、いのちを使うのだろうか？”

“本当のしあわせって何だろうか？”

と、自分の人生への大きな問いかけに変わりました。そんなときに、難病の子どもとその家族にめぐり逢い、彼らの生きる姿に、答えを見つけました。それ以来、私は彼らを〈本物の先生〉と思っています。

生きることに手を抜いては、決して辿りつけないところに〈しあわせ〉はあります。だけど、せいっぱい生きてみたら、こんなに近くにあったのかと気づかされます。



この映画は、〈あなた〉が自分自身をみつめ、考え、〈いま〉を生きるために、きっと力をくれるでしょう。なぜなら……

“He lives in You. (答えは、あなたの中にある)”

～ Walt Disney (ウォルト・ディズニー) ～

『Given ~いま、ここ、にあるしあわせ~』は、あなたの映画です。

企画・総指揮
公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を
代表 大住力

大住力 / 公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」代表



1965年 広島生まれ。東京ディズニーリゾートを管理・運営する(株)オリエンタルランドに入社して、約20年に亘り、人材教育や東京ディズニーシー、イクスピアリ等のプロジェクトに携わる。2010年、米国キッズ・ザ・ワールド認証の日本運営団体として、公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」を設立し、難病を患う子どもとその家族のサポートに務める。また、教育や医療の現場、企業等で人材育成研修も行う。本編ではエグゼクティブプロデューサーとして映画制作の総指揮を執る。著書多数。



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を

当法人は、全国に20万人以上いるといわれる難病の子どもとその家族に、私たちからの対話や交流を通じて、この活動に参加する一人ひとりが“社会との繋がり”を実感し、「夢」を持つことができる社会の実現に取り組んでいくことを目的としています。病氣と闘っているのは子ども本人だけではなく、親や兄弟姉妹も含め家族全員です。難病の子どもとその家族との永続的な交流を基に、“家族”“母心”“生きる”ということを社会で共に考え、育み合う場を創出しています。

主な活動として、東京ディズニーランド、ユニバーサルスタジオジャパン等のテーマパーク、ヘアサロンや浅草観光、沖縄や箱の浦(広島県福山市)等、地元地域の方々が迎えてくださる2泊3日の家族全員旅行(ウィッシュ・バケーション)に招待しています。また、企業や個人の支援者と、難病の子どもとその家族との交流会(ギビング・サンクス・パーティー)や、チャリティーイベント(リレーマラソン大会、パークゴルフ大会)等、様々な関わりがもてる場を提供しています。

現在、難病を患う子どもとその家族全員を癒しリフレッシュしてもらうための拠点、レスパイト施設(休息・息抜き:respiteの総称)づくりに力を注いでいます。スティーヴィーアワード 2014国際ビジネス大賞の、BEST NPO部門において、金賞を受賞いたしました。



Shiokawa Family 塩川ファミリー



横紋筋肉腫(※)が顔の奥にできた塩川家の長男は、25時間に及ぶ大手術で、眼球と顔の約半分を切除する。
「受け入れがたい現実に、震えながら泣きました」と母。
けれど、その絶望をスタートに、家族みんなが明るいほうへ動き出す。

「いのちだけは頼むで」と毎日氏神様に手を合わせつつ、息子の病気に正面から向き合う父。
「大きくなったら看護師になる」と決意する姉。
片目を失った兄を「海賊みたいでカッコイイ!」と、友だちに自慢する弟。
「この子が生きていくうえで、何が大切か」を常に考え、積極的に動く一方で、特別扱いはしない母。

失ったものを嘆くより、現実をありのままに受け入れて、明るく生きる塩川家の日常。
その圧倒的な前向きさに勇気をもらう。

(※)横紋筋肉腫
からだの様々な箇所にできる悪性の腫瘍。小児がかかることが多く、横紋筋肉腫患者の約3分の2を10歳未満の小児が占める。自覚症状がなく発生頻度も低いため、腫瘍が肥大してから気づくケースが多い。

Shido Family 志藤ファミリー



結婚5年目にして、ようやく授かった我が子。
けれど、「ほかの子どもとちょっと違う?」。
成長とともに不安を感じはじめた両親は、やがて娘が難病を患っていることを知る。

ムコ多糖症(※)。
今できていることが、やがてできなくなってしまう病気。幼い頃、元気いっぱい笑っていた娘は、時とともに歩けなくなり、喋れなくなり、笑顔が消え、そして声までも……。
大人になれるかわからない、クスリも治療法もない。

「誕生日は嬉しくないんです。このまま時が止まってくれたら」
そう願いながらも、両親は現実から決して目を背けない。

志藤家の日々は、
〈いま〉の大切さ、愛おしさを教えてくれる。

(※)ムコ多糖症Ⅲ型 サンフィリップ症候群
代謝物質「ムコ多糖」がからだに溜まっていく進行性の病気。幼児期に多動・知的発達の遅れなどの症状が現れ、年齢とともに言語、歩行など様々な機能が退化する。

Yoneda Family 米田ファミリー



18トリソミー(※)という、先天性疾患をもって生まれてきた米田家の二女。亡くなった二男の3度目の命日に生まれたが、この子もまた、「1週間持たないかもしれない」と、医師から告げられた。

手をかけなければ死んでしまう我が子。
「亡くなった二男に手をかけられなかった分、この子に手をかけなさい」ということ」
そう覚悟して、娘のゆっくり流れる時間に向き合う母。
その明るさに導かれて、家族全員が心をひとつにする。

やがて……。
「長く生きられない」と言われた二女は4歳になった。
母は引きこもっていた家を出て、病気の娘を外に連れ出す。
すると、二女のもとにたくさんの人が集まってきた。

小さな病気の娘が、家族の世界を広げていく。

(※)18トリソミー
第18番染色体の過剰により、精神遅滞や重度の心疾患をはじめ、多くの発育異常が見られる。半数以上は生後1週間以内に死亡し、生後1年まで生存する確立は10%未満と言われる。

※映画にご登場いただいたご家族は、毎日ふつうの生活を送っています。子どもたちも日々、成長しています。是非、温かな目で見守って下さい。プライバシーの尊重と保護へのご理解をよろしくお願いいたします。

難病ってなに?



難病とは文字通り、原因が分からず、治療法が見つからない病気のことを指します。
医学的に「ここからが難病、ここまでは難病ではない」という明確な線引きはなく、いま現在確認されている難病の数は4,000とも5,000とも言われます。日本では20万人以上の子どもが難病を患っています。



～いま、ここ、にある しあわせ～

Given～いま、ここ、にあるしあわせ～

上映会ワークシート 1

あなたのいのちの
プロフィール

自分のことを改めて知ろう！
自分を産んでくれた母と話してみよう！
自分のいのちの使い方を考えていこう！

★あなたは、何g、何cmで産まれてきましたか？

★あなたの産まれた時の様子を知っていますか？
エピソードなどご家族に聞いて書いて下さい。

★あなたの名前の由来は？

★あなたが小さい頃の夢は何？憧れた職業は何？



～いま、ここ、にある しあわせ～

Given～いま、ここ、にあるしあわせ～

上映会ワークシート 2

あなたがいま
できること

映画を観て、あなたが感じたことを具体的な行動として考えてみよう！

あなたにしかできないことがきっとある筈です。

★ あなたが、いま、一番好きなことは？得意なことは？

★あなたの好きなことや、得意なことで、Given 出演の3家族に何かをするとしたら？
誰と何をしたいですか？

For 米田ファミリー

For 志藤ファミリー

For 塩川ファミリー



～いま、ここ、にあるしあわせ～

Given～いま、ここ、にあるしあわせ～

上映会ワークシート 3



あなたの毎日は？

毎日、嬉しくなることはありますか？
誰かが喜んでくれた時はどんな気持ちになりますか？
誰かに助けってもらったことはありますか？
あなたの毎日を見つめてみよう！

★ 毎日、何気ないことで嬉しくなることはありますか？
それは、どんなことですか？

★ 毎日、続けていることはありますか？
続けるって、どんな気持ちになりますか？

★ 何かをして、誰かが喜んでくれた経験はありますか？
それは、どんなことですか？

★ 誰かに助けってもらったことはありますか？
その時は、どんな気持ちになりましたか？



Given~いま、ここ、にあるしあわせ~

上映会ワークシート 4

自分デザイン計画

いま、のあなたは、どんなポジションにいますか？
何を目指していますか？
将来、どんな自分になっていたいですか？
自分の未来を計画してみよう！

いまの自分

6か月後の自分

1年後の自分

社会人の自分



～いま、ここ、にある しあわせ～

Given～いま、ここ、にあるしあわせ～

上映会ワークシート 5

しあわせって？

あなたが思うしあわせって何？
あなたがしあわせにしたい人は？
いま、あなたはしあわせ？

あなたのしあわせのかたち

STAFF

主題歌
[Get Into My Life]
綾戸智恵

監督／高橋夏子



1972年神奈川県生まれ。早稲田大学卒業。(株)藤沢ケーブルテレビにてローカル番組、フジテレビの医療番組等でチーフディレクターとして制作。『検証ニッポンの医療』がグッドデザイン賞新領域デザイン部門にて受賞。食品ロスに関する特集『もったいないお化けはどこへ行った?』でフジテレビ情報制作局内『エッジ賞』受賞。現在はフリーディレクターとしてNHKの番組、NPOや企業等の映像制作を手がける。本編では初の映画監督を務める。一児の母。

撮影／橋本和典



大学卒業後、写真関連メーカーに勤務。モルディブ共和国青年センター写真コース講師、ガーナ国立テマ技術専門学校写真学科講師を経て、1998年よりフリーランスとして国内外で活動を開始。家族写真の撮影を中心に、映像作品やアーティストのプロモーション・ビデオへの写真提供まで活動の幅は広い。公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」の主たる活動である、ウィッシュ・バケーション(家族全員旅行)では、毎回、家族の笑顔を撮り続けている。本編では動画撮影で映画デビューとなる。

音楽／KOTEZ(コテツ)



1971年東京生まれ。17才から10ホール・ハーモニカ(ブルースハーブ)を吹きはじめ、2001年にデビュー。ドクター・ジョン、パディ・ガイ、オーティス・ラッシュなど来日アーティストのオープニング・アクトを務める。「ROAD MOVIE」「ORGANIC MUSIC」「221」をはじめ、数多くのアルバムをリリース。全国各地のライヴツアーや、フジロック、ライジング・サン等の野外フェスティバルまで年間220本のライブのほか、ハーモニカレッスン等幅広く活動。本編では、初の映画音楽を務める。

企画・総指揮／大住力

プロデューサー／近藤正典

アシスタントプロデューサー／水戸川真由美

撮影／橋本和典

主題歌／綾戸智恵

音楽／KOTEZ

語り／綾戸智恵

ナレーション／熊谷麻衣子

医療監修／細谷亮太

制作統括／柴田礼子

音響監督／小川武

編集／安田奈土樹 河村圭太

カラリスト／小林弘典

題字／大住力

CG作成／宮沢命

ポスター・パンフレットデザイン／高木志保

撮影協力／望月あずさ 相葉圭樹 山本修身 横垣哲也

広報協力／中村美砂子

協力スタッフ／西野菜奈実 村上夕子 小林博美 曾我部佐江子

監督／高橋夏子

製作／公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を

2016/日本/カラー/90分 ©Given いま、ここ、にあるしあわせ

Given
www.given-imakoko.com

自主上映会を開きませんか？

ドキュメンタリー映画『Given ～いま、ここ、にあるしあわせ～』をたくさんの方々に観ていただくため、自主上映の申込みを受け付けています。ホールや体育館での上映、少人数での勉強会等、さまざまな上映会に対応いたします。未経験の方でもサポートいたしますので、お気軽にご相談ください。

Hope&Wish 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 自主上映担当

〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル4A

電話:03-6280-3214 FAX:03-6280-3215

E-mail info@given-imakoko.com http://www.given-imakoko.com

製作・配給

Given ギブン
～いま、ここ、にあるしあわせ～



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を
www.yumewo.org





公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を



歯の妖精からの贈りもの
TOOTH FAIRY
トゥース フェアリー